

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成24年10月26日(金)午後2時30分～午後5時15分
- 2 場 所 伊東市役所 4階 中会議室
- 3 出席者 1番 杉田 純子君 2番 佐藤 潤一君
3番 田中 智海君 4番 上村 昌延君
5番 内山 義夫君
- 4 参 与 教育部長 鶴田 政利 次長兼教育総務課長 鈴木 健支
教育指導課長 小田 靖久 幼児教育課長 泉 將好
生涯学習課長 堀井 裕三
- 5 書 記 教育総務課長補佐 村上 千明 主事 杉山 香織
- 6 会議の経過

委員長：ただ今から、伊東市教育委員会10月定例会を開会します。それでは、はじめに、教育長の報告をお願いします。

教育長：「10月教育委員会教育長報告事項資料」に基づき次の事項について報告がされた。

- 10月 1日 臨時教育委員会
異動者辞令交付、条件附採用期間終了者訓示
第3回試験委員会
- 3日 管理主事訪問（旭小、富戸小）
- 4日 社会教育委員会
- 5日 2012年度教育懇談会
- 7日 秋の民謡まつり
第57回空太郎祭
- 9日 市内保育園訪問
市町対抗駅伝実行委員会
- 10日 管理主事訪問（西小、北中）
- 11日 管理主事訪問（宇佐美小、宇佐美中）
- 12日 ともだち運動会

幼稚園長会

第51回伊東市芸術祭開幕

- 16日 管理主事訪問（八幡野小、池小）
- 17日 東部地区市町教育委員長・教育長会
- 18日 第3回伊東創造戦略事業会議
管理主事訪問（門野中）
- 19日 湯川分園訪問
- 20日 伊東高校城ヶ崎分校開校30周年記念式典
ふるさと児童絵画展表彰式
- 21日 伊東市芸術祭（吹奏楽）
- 22日 行政協力委員表彰式
- 24日 保育園5歳児交流会
湯川分園研究発表会

その他

(1) 定例教育委員会での各課報告について

委員長：ありがとうございます。ただ今の教育長報告について何か質問等がありますか。

委員：芸術祭の参加人数はどれほどか。

堀井生涯学習課長：105団体が参加し、2083の作品が出品された。観客数は11,729人であった。

委員：中堅教員の数が減り、教員数がワイン型となった原因は何か。

教育長：採用がなかったことが挙げられる。

委員：今、採用人数が増えても、同じようにアンバランスになる。

委員：状況は少しずつ緩和されていくと思われる。

委員長：その他何かございますか。

（意見なし）

委員長：委員からの報告がありましたらお願いします。

(報告なし)

委員長：それでは本日の議事に入ります。

委員長：議決事項です。

教議第4号「平成23年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書について」を議題といたします。説明をお願いします。

(鶴田教育部長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

委員長：委員の話し合いで、評価を変更した点を報告する。大項目1教育委員会の活動からは中項目(5)教育委員の自己研鑽、大項目2教育委員会が管理・執行する事務からは中項目(3)教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること、大項目3教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務からは中項目(3)施策の柱の人間形成の基礎を培う家庭教育の充実の2つの小項目について、評価を1つ下げた。これらは、まだ努力が必要であり、自己満足の評価をすべきではない。なお、大項目3教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の中項目(3)施策の柱のいじめや不登校等の悩みを受け止める教育相談の充実の小項目である教育指導員の設置については、評価を1つ上げた。また、点検・評価の文言についても変更した。大項目1教育委員会の活動からは中項目(1)教育委員会会議の開催について「臨時会も2回開催した。開催回数は前年度より1回増である。」を「臨時会を2回開催した。」へ、大項目3教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の中項目(3)施策の柱のいじめや不登校等の悩みを受け止める教育相談の充実の小項目である教育指導員の設置について「問題解決を図ったが、検討すべき余地が多分にある。」を「問題解決を図っている。」へ変更する。また、大項目2教育委員会が管理・執行する事務の中項目(9)学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定及び変更に関すること及び大項目3教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の中項目(3)施策の柱の子どもたちの学びへの支援の充実の小項目である多人数学級支援について、評価の説明を求める。

鶴田部長：学校の区域の設定及び変更に関することについては、審議となる案件はなかったが、調査等の事務は行っているため、評価をBとした。文言を「検討すべき

案件として審議を行わなかったが」を「検討すべき案件として事業がなかったが」に変更すると分かりやすいと考える。

小田教育指導課長：多人数学級支援については、東小学校で2クラスだったものが、1クラスとなり人数が増えることになった。講師を1人配置して対応にあたることができたため、評価をAとした。

鶴田部長：文言を「講師を配置した。」を「講師を特別に配置した。」に変更すると分かりやすいと考える。

委員長：それぞれの文言をそのように変更する。

委員：学識経験者の意見を求める際、評価の根拠を説明できる文言が必要である。

委員：ホームページ上で公開する以上、誰もが評価を理解できる表記が必要である。

委員：奨学金の未収金について教えてほしい。

鈴木次長兼教育総務課長：24年度は現年度37人、過年度の滞納者11人の48人が返還をしている。23年度の収入未済額は244万5500円である。滞納者については、少額ずつでも返還を続けてもらっている。

委員：貸与者の返還が滞るのであれば、定期的に成績のチェック等を行うなど条件を厳しくして、全員を給付にすることはどうか。

委員：昨今の就職状況なども考慮し、給付人数を増やすことや、条件を満たした場合の返還額の減額や免除の検討など、制度を見直してほしい。

委員長：学識経験者の意見については、市P連会長、校長会長、教育委員経験者に打診してほしい。

鶴田部長：了解した。12月中には完成としたい。

委員長：他になにかございますか。

(意見なし)

委員長：この件について確認します。教議第2号「平成23年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書について」は、一部修正の上、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長：委員の皆様から承認が得られましたので、教議第2号については一部修正の上、決定しました。

委員長：以上で議決事項は終了です。次はその他です。

「平成25年度市立幼稚園申込状況について」を議題とします。説明をお願いします。

(泉幼児教育課長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

(意見なし)

委員長：次に移ります。

「平成25年度伊東市教育機関職員採用試験の経過報告について」を議題とします。説明をお願いします。

(鈴木次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

(意見なし)

委員長：よろしいでしょうか。その他で何かございますか。

鶴田部長：戦略会議の報告をしたい。市長の経営方針に則り、各課長から平成25年度の重要施策の内容について説明する。

鈴木次長兼教育総務課長：教育総務課の報告をする。

西小学校屋内運動場の改築を平成27年度までに完成させたい。他の用途を備えることも視野に入れ、業者にプロポーザル方式で計画を提案してもらうことを考えている。また、2階建てにする必要性を再検討している。

小学校の給食委託について、栄養士及び調理員の退職者が年々出るが、臨時職員での対応には限界があるため、まずは東小学校と川奈小学校の親子方式を進めていきたい。長期における全体的な計画を立てなければ保護者の理解は得られないと意見があった。

小中学校トイレ清掃について、業者に週2回ほど清掃委託しているが、県内でも業者に委託している市町はほとんどない。教育の一環として児童生徒がトイレ清掃をすることを校長会へ提案したところである。修繕等の諸問題を解決した上で、順次取り入れていきたい。

委員：トイレ清掃については、今までの習慣を改めるのは困難であるから、慎重に進めてほしい。

委員：業者委託をやめる理由について説明できるか。

鶴田部長：薬剤の危険性やバブル期の潤沢予算から委託してきたと推測するが、今は薬剤を使用していないため危険性はない。自分たちが使用するトイレを清掃することは、教育論からくる理由である。

委員：学校規模により不公平感が生まれないか。

鈴木次長兼教育総務課長：校長会では、トイレの汚さ、保護者の理解、女子の汚物処理、いじめや嫌がらせにつながる恐れ、小規模校では困難であるなどの問題が挙げられた。ひとつひとつ改善し、教育の一環として実施したい。実施地域を参考に、小規模校なりのやり方も検討していく。

小田教育指導課長：教育指導課の報告をする。

適応指導教室なぎさについて、津波等の恐れや耐震性に問題があるため、来年度中の移転を考えている。

通級指導教室杉の子について、来年度入る児童が増えることが見込まれるため、1学級増設したい。県に教員の増強を進めてもらい、市としては施設整備及び設備の充実を図りたい。

「私たちの郷土・伊東」は、5年に1度の改訂の年にあたるため、作業を進めていく。

特別支援員について、現在は10人だが1校に1人は配置したい。県へも要求をしている。

教育長：支援員については、首長会からも県へ増員を要求するという話がある。スクールソーシャルワーカーについても、引き上げの話があるため、要求したい。

委員長：スクールソーシャルワーカーは県から予算が切られたのか。

小田教育指導課長：実施したい市があるかの問いかけに伊東市が手を挙げたものであり、今までの配置は試験的であった。

泉幼児教育課長：幼児教育課の報告をする。

保育園待機児について、国の基準では4月1日現在15人、10月1日現在約3

0人、年度末には35～36人の待機児童が予想されるが、基準外の待機児童は70人ほどになる。県からは0にするよう指導があるため、改善していきたい。

市立幼稚園の適正配置については、今後の幼児数を見据える中で、検討していきたい。

幼稚園の保育料の値上げについて、他の公共料金の値上げと重ならないよう検討していく。なお、保育料は、所得により18段階に分かれており、0円から54,500円までであるが、多いのは18,000から24,000円までで、全体の20パーセントを占めている。また、保育園の保育料については当分の間は値上げの予定はない。

委員長：川奈幼稚園の3歳児クラスに2人の入園希望があるが、途中から移ることも可能か。

泉幼児教育課長：強制はできないが、勧めている。

委員：兄弟が同じ園に通っていたりすると難しい場合もある。

堀井生涯学習課長：生涯学習課の報告をする。体育協会のNPO法人化については、行政経営課が同様の団体の有無について、庁内へ調査をすることになっており、それから今後の進め方を検討していく。

生涯学習センターのパソコンが古く、パソコン講座に対応できないため、新しく購入したい。また、貸出しをすることによって、収入を得ることを検討している。

施設監理員を管理指導員にすることについては、労働時間が伸びたことにより、最低賃金を下回らないようにするために変更したい。

石丁場の文化財指定については、面積が広いため、区切って指定していく予定である。

中央会館とひぐらし会館を指定管理者へ委託することを検討している。

中央会館に現在設置しているエアコンは、一部が作動すると全館作動してしまう。電気代節約のため、新規導入を図る。

委員長：よろしいでしょうか。その他で何かございますか。

小田教育指導課長：伊東市教育委員会指定研究発表会を、11月は9日に西小学校、16日に対島中学校で午後から開催する。

委員長：よろしいでしょうか。その他で何かございますか。

小田教育指導課長：小中学校における生徒指導上の諸問題について前期の状況をとりまとめた。件数については、軽微なものについても市教委に月例報告として挙げることを徹底しているため、昨年度と比べ増加する形となっている。寒くなるにつれ、件数が増加する傾向にあるため、注意していく。目立つのは粗暴行為であるが、特定の生徒が繰り返すことが明らかになっている。家庭環境や発達障害が要因となる場合が多いため、学校だけでは改善が難しく、幼少時からの家庭の支援が必要であると考え。小学校から挙がることも増えているため、小学校から中学校への見通しを持ち、チームとして問題に取り組みたい。いじめについては、現在44件の報告がある。件数の増加については、発生件数ではなく認知件数を報告するため、教職員も細部まで見るようになってきたのだと考えている。件数については少なければ良いという指針ではない。小学校では解決が早い、中学校については継続したものを絶つのが難しいため、課題となっている。いじめ問題への対応ガイドラインを作成し、学校へ配布したところである。不登校については、昨年度に比べ中学校で増加傾向にある。月に3日休むことを基準に報告してもらい、未然防止や早期発見に取り組んでいる。不登校対策における「未然防止」「早期発見・早期対応」の鉄則を作成し、学校へ確認させている。

委員：不登校対策を具体的に教えてほしい。

小田教育指導課長：フローチャートを作成したので、それに沿って取り組んでいる。また、児童生徒の休みに注目し、早期発見に努めている。担当者だけでなく、役割を決めた取り組みを浸透させていく。

委員：不登校をつくる原因は、学業の遅れや人間関係である。幼保段階から対策していく体制づくりをしてほしい。

小田教育指導課長：学校に来ることを楽しいと思える学校づくりをしていきたい。学業については補充指導、人間関係づくりは学活でしていく。

委員：家庭との信頼関係を築くために、保護者へ情報を発信・指導しているか。

小田教育指導課長：学校・学年・学級だよりで発信している。授業参観の際に話題に挙げることもある。

委員：もっと家庭に情報を発信すべきである。子どもの変化を確認するチェックリスト

等を家庭で確認してもらうことで、早期に発見・解決できるはずである。

委員長：よろしいでしょうか。その他で何かございますか。

泉幼児教育課長：伊東市立幼稚園の学級編成基準（案）について説明する。1学級あたりの人数を3歳児から5歳児の各年齢で定めたい。また、幼児数が少ない場合に、条件を満たした場合は、異なる年齢を1学級に編成することとしたい。

委員：年齢の異なる幼児が同じ学級になった場合、補助者が必要ではないか。

泉幼児教育課長：現場の意見も聴く中で、特別な支援を必要とする子がいなければ補助者は必要ないと判断している。

委員：保育園についての基準はあるか。

泉幼児教育課長：面積等の国基準及び市基準がある。

委員長：よろしいでしょうか。その他で何かございますか。

堀井生涯学習課長：10月28日に伊東陸上カーニバルを伊東高校のグラウンドで行う。500人以上が参加する予定である。11月1日のあいさつ運動は、時間を延長し、参加できる時間で行うことを企画した。11月11日にわたしの主張発表会を観光会館で開催する。11月15日に青少年問題協議会が開かれる。12月3日、14日に成人式実行委員会が開かれる。534枚の案内状を発送予定である。実行委員は、新成人20人、OB6人と増え、着々と準備を進めている。社会教育委員会では、家庭の担う役割について答申を出したところだが、標語を作り、ポスター等で周知をしようという計画がある。

委員長：熱海には全員が歌える歌があり、成人式で歌う話があるようだ。伊東市でも、小中学校を中心に、市民全員が歌うことができるような歌が普及され、成人式等で歌われるようになることを望む。

委員長：その他、何かございますか。

（意見なし）

意見も無いようですので、本日の審議事項は、以上を持ちまして終了します。

委員長：今後の日程について確認します。

11月定例会につきましては、11月22日（木）午後2時30分から、4

階中会議室

12月定例会につきましては、12月19日(木)午後2時30分から、4
階中会議室

委員長：ご苦労さまでした。以上で伊東市教育委員会10月定例会を終了します。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

委員長 杉田 純子

委員 上村 昌延

書記 杉山 香織